M1　中田雄大

・保存に最適な基底数が3個以下のブロックのみで基底を作成してみる

　10/12の進捗では，すべてのICA\_Blockの候補を用いて基底を作成したときに，「あるレートの基底をすべてのレートに対して適用させたほうが良いのか？」，「平均値のみで再構成可能なブロックを含んで基底を作成したほうが良いのか？」などの比較を行った．その結果，平均値のみで再構成可能なブロックを含んだ方が良いのかは分からなかったが，そのレートのICA\_Blockの候補で作成した基底を適用させた方がある程度性能が良かった印象であった．実験では，すべてのICA\_Blockの候補を用いて基底を作成したが，実際に選出される基底の数は0～3個であるため，再構成に必要な基底の数が4個以上のブロックが持っている形状特徴は不要であると考えられる．（現状，不要であっても基底を作り直すことで最適基底数が下がる可能性もあると思うけど…）そのため，今回の実験では，最適基底数が3個以下のブロックのみ（再構成可能なブロックを含んだ場合と含まない場合の2パターン）で基底を作成し，元の基底の性能との比較を行うことで，推測が正しいか確認する．

実験条件

Qレート：10～50，70

基底作成に使用する領域：

選択したレートのICA\_Blockの候補の内，最適基底数が3個以下のブロック

（平均値のみで再構成可能なブロック含む or 含まない）← 最後に画像あり